

2020年度

学校だより

第4号

# しもね

牛久市立下根中学校

令和2年5月20日

文責 校長 本橋和久

## 2回目の課題確認日を実施しました！～5月18日(月)・19日(火)

先週に引き続き課題確認日を実施しました。どの学年の教室でも静かな雰囲気の中で課題を提出したり新たな課題や資料などを配付したりしていました。ある学級では課題を配付する際に「手伝いましょうか？」と申し出る生徒も



いて(学級集団づくりのために自分も何か貢献したい)という新たな意気込みが感じられました。1年教室では、級友に会って感じる事、コロナウイルスのニュースを見て思うこと、家庭学習で頑張ったことなどを一人一人が静かにワークシートに書き綴っていました。

22日(金)には3年生の課題確認日に加わり、25日(月)からは全学年が分散登校になります。手洗い・うがいの励行、マスクの着用により感染症予防に努めながら、これまでの家庭学習で疑問に思ったこと、納得できないことなどを明らかにする機会にしていきます。限られた時間の中ですが、「わからない！」を「納得！」に変えて知のネットワークをつなげていきましょう。

## 運動部活動・文化部活動における感染症拡大防止について



去る4月28日(火)に日本中学校体育連盟から全国大会の中止、5月7日(木)には関東中学校体育連盟から関東大会の中止、同14日(木)には茨城県中学校体育連盟から県民総合体育大会中学校の部の中止が相次いで発表されました。これを受けて、牛久市中学校体育連盟も市総合体育大会の中止を決定しました。部活動は生徒の心身の健康と健やかな成長、好ましい人間関係の構築等に大きな役割を果たしてきました。心身の健康の増進という部活動のねらいを考慮すると、この状況にあって最優先すべきは生徒たちや活動に関わる関係者の健康と安全であると考えます。18日(月)の学級活動の前に、本来ならば部活動の中心となって活動しているはずの3年生に校長から次のような話をしました。

- これまで自分が打ち込んできた活動(日常の練習や対外試合・芸術発表の機会等)を振り返り、その事実の意義や価値を自覚すること
- 今後の自分の人生においてスポーツや芸術とどう関わっていくか見通しと希望をもつこと
- 下根中学校の運動部・文化部に所属し活動したという事実を誇りをもって生きていくこと

生徒たちは心の中に様々な思いを巡らせながら静かに話を聴いているようでした。今後のことについては、感染状況の推移やそれに伴う国、県、市の判断に従って情報発信していきます。